

出前講義の実施手順

- ① 学校・園が、「出前講義 講師派遣依頼票(様式1)」を、地域教育支援室へFAXで送信 (FAX:077-537-7909)
- ② 地域教育支援室担当者が、講師と学校園の担当者をつなぐ
- ③ 講師と担当者の打ち合わせ(電話・メール等)
- ④ 学校・園が、「打合せ結果票(様式3)」を、地域教育支援室へFAXで送信
- ⑤ 学校・園からの「出張依頼票(様式4)」を受けて、講師を派遣
- ⑥ 出前講義終了後、学校園が「報告票(様式5)」を、地域教育支援室へ郵送

各申請書(様式1,3,4,5)は、地域教育支援室ホームページ<http://support-sta.edu.shiga-u.ac.jp/>からダウンロードできますので、ご利用ください。

出前講義の題目と講師

| 分野 | 題 目 | 講 師 名 | 分野 | 題 目 | 講 師 名 | |
|-------------------|---------------|---------------------------|---------|-----------|----------------------------------|----------|
| 国語教育 | 漢詩は中国語だ | 亀山 朗 | 技術教育 | 金属材料のこれから | 磯西 和夫 | |
| | 書とその周辺 | 中村 史朗 | | 物質の変形と流動 | 千葉 訓司 | |
| | 「言語活動の充実」とは何か | 牧戸 章 | | メディアと教育 | 松原 伸一 | |
| | 社会科教育 | 滋賀県の方言 | 松丸 真大 | 家庭科教育 | 何をどう食べる?—自分のための食べ物、食べ方— | 久保 加織 |
| | | 古典文学における近江 | 吉川 栄治 | | 学校と防災 | 田中 宏子 |
| | | 「生きること」を哲学する国語の授業 | 渡辺 哲男 | | 家庭科教育の理論と実際 | 矢野 由起 |
| 数学教育 | | 地理的な見方、考え方について | 秋山 元秀 | 英語教育 | 衣生活と環境 | 與倉 弘子 |
| | | 史料を基礎とした日本史(前近代史) | 宇佐見 隆之 | | 英文を楽しく読む | 岩上 はる子 |
| | | アメリカNCEEの初等中等段階の経済教育 | 加納 正雄 | | 人間の言葉の能力について:母語の獲得、外国語の習得と脳のはたらき | 大嶋 秀樹 |
| | 理科教育 | 活用する学力を育てる社会科の指導と評価 | 岸本 実 | 学校教育 | 一歩進んだ英作文指導:認知言語学の視点から | 田村 幸誠 |
| | | 教科書の歴史—歴史・地理・修身・社会科— | 木全 清博 | | アメリカ小説を読む | 林 直生 |
| | | ヨーロッパの中世都市 | 谷口 健治 | | 言語学への招待 | 板東 美智子 |
| 音楽教育 | | 滋賀の近代史 | 馬場 義弘 | 幼児教育 | 子ども観の歴史 | 喜名 信之 |
| | | 地形図を読む | 松田 隆典 | | 学校づくりのための学校評価 | 紅林 伸幸 |
| | | 身近な事件をもとに法、裁判の役割を考える | 渡辺 暁彦 | | 胎児と新生児の記憶 | 児玉 典子 |
| | 美術教育 | 整数の世界 | 杉江 徹 | 障害児教育 | 子どもの自立的学習意欲を育てる観点 | 近藤 文良 |
| | | 無限の考え方 | 神 直人 | | 授業づくり実践とその研究 | 堀江 伸 |
| | | 非線形現象の解析 | 鈴木 宏昌 | | 「Eメール」を読む~生きるための教育と大人の役割について | 三輪 貴美枝 |
| 保健体育教育 | | 算数・数学教育の理論と実際 | 高澤 茂樹 | 情報教育 | 進路指導・キャリア教育における課題 | 若松 養亮 |
| | | 数学教育における「わかる授業」の探求 | 渡辺 慶子 | | 子どもが「こころ」に気づく時 | 渡部 雅之 |
| | | 細胞を作っている物質・脂質 | 糸 乗 前 | | 幼児の生活と健康 | 奥田 援史 |
| | 音楽教育 | 太陽の科学 | 大山 真満 | 環境教育 | 子どもの育ちと絵本 | 菅 眞 佐 子 |
| | | 物理学におけるシミュレーション方法 | 神山 保 | | 教師が育ち合う幼稚園の創造 | 田中 裕 喜 |
| | | Web上のビデオクリップを活用した授業デザイン | 鈴木 真理子 | | 発達障害の原因 | 江原 寛 昭 |
| 美術教育 | | 物性物理学入門 | 恒川 雅典 | 教育実践総合C | ちょっと気になる子どもたちの発達と教育 | 窪田 知子 |
| | | 琵琶湖を育む大地の科学 | 中野 聡 志 | | 発達テストの理解と実施・解釈 | 黒田 吉 孝 |
| | | 化学の基本概念 | 原 博 一 | | 脳損傷児・者の心理的理解と支援 | 近藤 文 里 |
| | 音楽教育 | 遺伝情報とは何か? | 古橋 潔 | 情報教育 | 障害のある子の発達と教育 | 白石 恵 理 子 |
| | | 音楽(ピアノ)表現と「伝えること」の可能性を求めて | 浅井 芳 子 | | 学習を支える認知過程 | 井上 毅 |
| | | ピアノ演奏法 | 犬伏 純 子 | | 教育工学的手法を用いた教育環境の改善 | 岩井 憲 一 |
| 美術教育 | | 現代社会と音楽 | 杉江 淑 子 | 環境教育 | 論理学初歩 | 齋藤 浩 文 |
| | | 楽しい音楽づくり | 林 睦 | | 多様な生物と生態的ネットワーク | 服部 昭 尚 |
| | | 音による表現をめぐる | 若林 千 春 | | 宇宙の誕生と進化 | 穂積 俊 輔 |
| | 美術教育 | 絵画の楽しい表現法と鑑賞法 | 大嶋 彰 | 環境教育 | 動物の行動を真似るロボット | 右田 正 夫 |
| | | 面白いアート | 橘 美 知 子 | | 複雑系入門—フラクタルとは何だろう— | 水上 善 博 |
| | | 西洋絵画鑑賞入門—「絵を見る」から「絵を読む」へ— | 谷田 博 幸 | | 湖沼の生態系 | 石川 俊 之 |
| 音楽教育 | | 楽しい日本美術鑑賞 | 新関 伸 也 | 環境教育 | 学力向上を軸とした学校改善について | 白井 重 樹 |
| | | 入門アート~1分間クロッキーに挑戦! | 藤田 昌 宏 | | | |
| | | グラフィックデザインの世界 | 世ノ一 善 生 | | | |
| | 音楽教育 | ストレスって何? —「こころの健康」を考える— | 大平 雅 子 | 附属学校園 | | |
| | | 体育授業における指導と評価の一体化 | 辻 延 浩 | | | |
| | | スポーツと国際交流・異文化理解 | 平井 肇 | | | |
| 臨床器械運動学入門 | | 三浦 幹 夫 | | | | |
| 学校体育における武道に期待するもの | | 村山 勤 治 | | | | |
| | | | | | | |

※Web版「出前講義2012」を参照ください。



国立大学法人
滋賀大学教育学部

学校教育・地域学習への 滋賀大教育の支援

学校・教員・地域のための
滋賀大学教育学部の活用法

2012年度(平成24年度)版

専門的な学びに向けて

1.大学院教育学研究科

概要: 派遣研修制度や修学休業制度による履修、在職履修など、学びの形態は多様です。標準修業年限は2年ですが、長期履修学生制度(3年~4年)もあり、夜間や土曜日にも授業が開講されています。修士の学位と専修免許状が取得できます。
募集等: 募集要項等は6月下旬に発表し、7月と9月に説明会を開いています。
・詳しくは、[入学試験係\(077-537-7711\)](tel:077-537-7711)までお問い合わせください。

2.特別支援教育専攻科

概要: 幼、小、中、高の普通免許状を有する者を対象とした修業年限1年の専攻科です。必要単位の修得により特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)または特別支援学校教諭専修免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)が取得できます。
募集等: 募集要項等は6月下旬に発表します。
・詳しくは、[入学試験係\(077-537-7711\)](tel:077-537-7711)までお問い合わせください。

現職教員や社会人の学びと
スキルアップを支援します

3.科目等履修生

概要: 学部や大学院の科目をパートタイムで履修することができます。履修できる単位数は、学部では1年間に20単位、大学院では10単位までです。修得した単位は、教員免許状取得のための単位として用いることができます。
募集等: 出願の時期は4月入学の場合は3月中旬、10月入学の場合は9月上旬です。
・詳しくは、[教務係\(077-537-7707\)](tel:077-537-7707)までお問い合わせください。

4.研究生

・学部および大学院において専門的な研究を希望する者を対象に、6ヶ月または1年の期間で受け入れています。
・詳しくは、[教務係\(077-537-7707\)](tel:077-537-7707)までお問い合わせください。

5.共同研究員

・すぐれた学術研究業績を有する者で、大学院において本学部の施設・設備を利用して共同研究を希望する者を対象に、1年の期間で受け入れています。
・詳しくは、[総務係\(077-537-7704\)](tel:077-537-7704)までお問い合わせください。

スキルアップに向けて

1.大学公開講座・公開授業

・滋賀大学では、地域の人たちを対象に、土曜日や日曜日、夏季休業期間中に公開講座を開いています。また、大学の正規授業を公開授業として受講できます。

・詳しくは、**学術国際課社会連携推進係(仮称)**
(0749-27-7521)までお問い合わせください。

2.教育研究フォーラム

・教育学研究科の修了者との連携を深め、修了者を中心にして地域の教育界の教育実践に貢献することを目的に年1回開催しています。
・23年度は、12月に「いまやらなければならないことー3.11以降の日本のためにー」というテーマで教育研究フォーラムを行いました。

・詳しくは、**企画係(077-537-7701)**までお問い合わせください。

3.附属図書館

・附属図書館を自己研鑽や研修の場として活用できます。夜間も開放しています。教科書コレクション(明治初期～現在)など、多数のコレクションがあります。

・詳しくは、**教育学部分館(077-537-7710)**までお問い合わせください。

4.学校図書館司書教諭講習

・司書教諭の資格を取得するための講習です。毎年、夏季に行っています。

・詳しくは、**企画係(077-537-7701)**までお問い合わせください。

5.教員免許状更新講習

・教員免許更新制の実施に伴い本講習を開設しています。平成24年度は8月上旬に実施する予定です。

・詳しくは、**教員免許更新講習事務室(077-537-0320)**までお問い合わせください。

6.教員免許法認定講習

・現職教員で2種免許状を有する者を対象として、1種免許状を取得するために必要な単位を修得するための講習です。毎年、夏季に行っています。栄養教諭育成講習を実施しています。

・詳しくは、**滋賀県教育委員会教職員課(077-528-4531)**までお問い合わせください。



附属学校園の公開研究会等

1.附属幼稚園

・11月15日(木)に「わくわくの創造」～自らのりだし、人とゆきかう子どもを育てる～という研究テーマで公開保育研究会を開催します。幼児が主体的に活動するための教師の援助や環境について追求しています。

・詳しくは、**(077-527-5257)**までお問い合わせください。

・附属幼稚園ホームページは、
http://www.fk.shiga-u.ac.jp/をご覧ください。

2.附属小学校

・6月下旬に教科のねうちや意義を問い直す「授業を語る会」を、11月中旬には新学習指導要領の趣旨を生かした学習指導のあり方を問う「教育研究発表協議会」を開催します。いずれも授業を通じた実践的な研究会です。

・詳しくは、**(077-527-5251)**までお問い合わせください。

・附属小学校ホームページは、
http://www.fs.shiga-u.ac.jp/をご覧ください。

3.附属中学校

・文部科学省研究開発学校指定を受け、「紙と鉛筆から始める情報学」を核とした教育課程の構築に取り組んでいます。11月2日に教育研究発表協議会を開催します。「情報の時間」、各教科、「科学技術」(エネルギー環境教育)の授業を公開し、教材開発や授業について交流します。

・詳しくは、**(077-527-5255)**までお問い合わせください。

・附属中学校ホームページは、
http://www.fc.shiga-u.ac.jp/をご覧ください。

4.附属特別支援学校

・8月1日(水)に実践ワークショップを開催します。特別支援教育にかかわる諸課題について話題提供し交流します。

・詳しくは、**(077-522-6569)**までお問い合わせください。

・附属特別支援学校ホームページは、
http://www.ft.shiga-u.ac.jp/をご覧ください。

学校園や地域の教育関係機関を支援します



学校園等への支援に向けて

1.教師の教育実践相談(ティーチャーズ・ハーバー)

・学校における様々な問題や教師自身の悩みについて、課題の解決と実践に役立てていただけるよう、相談に応じています。

・詳しくは、**教育実践総合センター教育実践研究部門(077-537-7782)**までお問い合わせください。

2.親の教育相談

・学校における不登校・非行など様々な問題について、児童や保護者の悩み等について、教育相談に応じています。毎週火曜日(10時～15時)と木曜日(10時～15時)です。

・詳しくは、**教育実践総合センター教育臨床研究部門(077-537-7747)**までお問い合わせください。

3.LD・多動教育相談

・特別な教育支援を必要とする児童・生徒や保護者の来所による教育相談、電話による教育相談に応じるとともに、土曜日には読み書き障害児の学習指導を行っています。なお、平成18年1月からはNPO法人滋賀大キッズカレッジが大学との連携のもとで、発達障害児の学習室及び指導者養成講座を行っています。

・詳しくは、**教育実践総合センター教育臨床研究部門(077-537-7747:NPO法人滋賀大キッズカレッジと共有)**までお問い合わせください。

4.特別支援教育に携わる教師への教育相

・学校園における特別なニーズを有する園児・児童・生徒に携わる教師への教育相談を行っています。

・詳しくは、**附属特別支援学校(学習・発達支援室077-522-6569)**までお問い合わせください。

5.学校支援ボランティア

・学校園での学習指導や様々な教育活動を支援するために、学生ボランティアを派遣しています。校園長が依頼する教育活動に関わるボランティア(例:学習支援、保育支援等)が対象です。

・詳しくは、**地域教育支援室(077-537-7993)**までお問い合わせください。

6.校内研究会への講師派遣

・学校や幼稚園への校(園)内研究の指導助言に講師を派遣しています。

・詳しくは、**地域教育支援室(077-537-7993)**までお問い合わせください。

7.出前講義による講師派遣

・本学教員による出前講義を実施しています。地域教育支援室ホームページ<http://support-sta.edu.shiga-u.ac.jp/>にてWeb版「出前講義2012」をご覧ください。

※裏面に**出前講義実施手順と出前講義題目一覧**を掲載しています。
・詳しくは、**地域教育支援室(077-537-7993)**までお問い合わせください。

週末等活動への支援に向けて

…小・中学生に大学を開放します…

1.フリースペース

・不登校・発達障害のある子どもたちの楽しい活動の場として、月1回土曜日午前に滋賀大学の学生が自主的に運営しています。

・詳しくは、**教育実践総合センター教育臨床研究部門(077-537-7747)**までお問い合わせください。

2.栽培教室など

・大学の施設や専門的教育機能を広く地域社会に開放し、多彩な活動ができる機会を提供しています。例えば、大学農場を活用した栽培の教室などがあります。

・詳しくは、**企画係(077-537-7701)**までお問い合わせください。

進路指導への支援に向けて

…高校生を支援します…

1.高校生・大学生を対象としたオープンキャンパス

・高校生や保護者を対象に、本学部の課程・コース概要、カリキュラム説明、公開講義の受講、学生生活相談、入試相談など、広く紹介する催しを8月4日に予定しています。併せて、本学大学院教育学研究科も実施しています。

・詳しくは、**入学試験係(077-537-7711)**までお問い合わせください。

2.入試関係説明会

・高等学校からの申し込みを受けて、学内で大学の紹介や見学、入試関係の説明を行っています。また、進路指導のための模擬授業や入試説明の出張も行っています。

・詳しくは、**滋賀大学入試課(0749-27-1023)**までお問い合わせください。

3.高大連携による連続講座

・滋賀県教育委員会との連携により、県内公立高等学校生を対象に連続講座を開講しています。23年度は「滋賀大学教育学部で何を学ぶのかーどんなことができるのか?どんなことをしているのか?」をテーマに各分野4人の本学教員がリレー方式で講義を行いました。

・詳しくは、**滋賀県教育委員会学校教育課(077-528-4573)**までお問い合わせください。